

平成30年度 学校経営方針

篠山市立今田中学校

【校訓】

鍛えよう・考えよう・手をつなぎあおう

【学校教育目標】

主体的に学び 自己実現に向かう ころ豊かな生徒の育成

～ 「学ぶ姿勢」 「学ぶ喜び」 「学ぶ意欲」 ～

「主体的に学ぶ」とは

興味や関心を持って学ぶ。自己のキャリア形成の方向性と関連づけながら、見通しを持って粘り強く取り組む。自らの学習活動を振り返り次に生かす。など「学びに向かう態度」を持つこと。

「自己実現」とは

目標や夢を持ち、その実現に向けて具体的に努力することによって、自らの幸福な人生を創り出していくための力や態度を身につけること。社会的・職業的自立に向かう意欲を持つこと。

「ころ豊か」とは

失敗を恐れずにチャレンジする心、困難なことにもくじけない強い心、他者とコミュニケーションをとりながら互いの良さを生かして協働する心を持つこと。

【学校経営の基本方針】 ～全ては「信頼関係」から～

生徒・保護者・地域との信頼関係、さらに教職員相互の信頼関係があって、はじめて学校教育目標は実現できる。その信頼関係はお互いへの「敬意」「対話」「行動」によって築かれる。

①篠山市教育大綱、篠山きらめき教育プランに基づいた教育活動を推進する。

大綱の基本方針「ふるさと教育」「地域に開かれた学校」「学力の確立と向上」「スポーツに親しむ」「篠山の文化を育む」「あいさつと生活習慣」を意識し、全ての教育活動の中で実践する。

②組織的できめ細やかな生徒指導体制を確立し、いじめや不登校の未然防止・早期対応を徹底する。また情報モラル教育を保護者や関係機関と連携して推進する。

全ての生徒を全ての教職員で育成するため、情報交換を密にしながら、組織的な生徒指導（共通理解・共通実践）を徹底する。また、情報モラル教育を計画的に進めるとともに、ノート指導や教育相談により、人間的なふれあいに基づいた、生徒の心に寄り添う生徒指導を進める。

③「わかる授業」「達成感のある授業」を展開し、学ぶ喜びが味わえる学校づくりを進める。

全ての授業で「書く活動」「話し合う活動」を充実させるとともに、ICT活用を進め、コミュニケーション能力、表現力を育成する。また、基礎・基本の力を伸ばすために、家庭学習の課題を工夫するとともに、予習や復習の仕方など個々の生徒に適した学習方法を徹底指導する。

④地域や保護者と連携しながら、事故やけがのない安全な学校づくりを進める。

地域住民や保護者の協力体制を確立するとともに、教職員の登下校指導、安全点検を徹底する。また、授業や訓練を通じて、「自分の身は自分で守る」という意識と能力を培う。

⑤篠山の自然・文化・人を活用したふるさと教育に積極的に取り組むことによって、地域に誇りを持ち、貢献しようとする意欲を育む。

篠山の自然・文化・人に学ぶことによって、郷土への愛情と誇りを育むとともに、ボランティア活動を通して、ふるさと今田に貢献する態度と意欲を育てる。また、コミュニティスクール事業を通して、地域とともにある学校づくりを推進する。

【目指す生徒像】

「学ぶ姿勢」「学ぶ喜び」「学ぶ意欲」を持つ生徒 ～さらなる進化を～

「学ぶ姿勢」

授業を大切にし、当たり前のことが当たり前にできる生徒（授業規律・あいさつ・清掃・時間）

「学ぶ喜び」

学びの中で自分の成長を実感し、互いに意見や考えを出し合い、ともに伸びようとする生徒

「学ぶ意欲」

目標や夢を持ち、その実現に向けて具体的な努力ができる生徒

【目指す学校像】

- 生徒が自らの生き方を真剣に考え、夢や目標を持っていきいきと生活できる学校
(信頼できる仲間や教職員に囲まれ、目標や夢に向かって挑戦し、成長が実感できる学校)
- 保護者にとって、安心して子どもを任せられる学校
(安全で安心な学校、信頼できる教職員がいる学校、我が子の力を伸ばしてくれる学校)
- 地域から信頼され、応援してもらえる学校
(ふるさと今田のために貢献しようとする意欲を持つ生徒を育てる学校)
- 教職員にとって、やりがいがあり、働きやすい学校
(教職員が互いに信頼し合い、それぞれの持ち味を生かしながら協働できる学校)

【目指す教職員像】 「楽しく 厳しく さわやかに」

- 情熱と愛情を持ち、率先垂範し、自らの信念を生徒に一生懸命語れる教職員
- 教育のプロとしての誇りを持ち、自らの資質や能力を高めるために学び続ける教職員
- 来校者や電話に対して、礼儀正しくさわやかな接遇ができる教職員
- 軽快なフットワークで地域へ出向き、地域の方々に顔を覚えられる教職員
- 新学習指導要領の改訂に際し、新たな教育課題に挑戦する姿勢を持つ教職員

【本年度の重点目標】

- ①いじめを絶対に許さないという確固たる方針のもと、生徒の心に寄り添った組織的な生徒指導を進め、全ての生徒がいきいきと生活できる仲間づくりを進める。
(定期的なアンケート、教育相談、ノート指導、校内巡視等で、未然防止・早期対応を徹底する。また、保護者・関係機関と連携しながら情報モラル教育を計画的に推進する。)
- ②課題を持つ生徒に対して個に応じた適切な指導・支援ができる特別支援教育を充実する。
(個々の教育的ニーズを把握し、全職員で共通理解しながら共通実践を進める。)
- ③「書く活動」「話し合う活動」を充実させるとともに、ICTを活用した授業改善を進め、活用する力・協働する力・自分の考えを堂々と表現できる力をつける。また個々の特性に合った家庭学習の方法をきめ細かく指導することにより、基礎・基本の力を伸ばす。
- ④コミュニティスクール事業を核に、職員・保護者・地域住民が丁寧にコミュニケーションをとりながら、地域とともにある今田中学校の教育を推進する。
(学校運営協議会が中心となり、地域の理解・協力が促進される仕組みづくりを進める。)
- ⑤「特別の教科 道徳」の研究を継続し、教科化に向けた「今田中スタイル」を確立する。
- ⑥今田小学校との小中連携を充実し、義務教育9年間の成長を見通した教育を展開する。
(キャリア教育の研究を進め、小中が協力して「今田の子ども」を育成する。)
- ⑦業務改善の意識を全職員が共有し、勤務時間適正化にむけた工夫・実践をさらに進める。